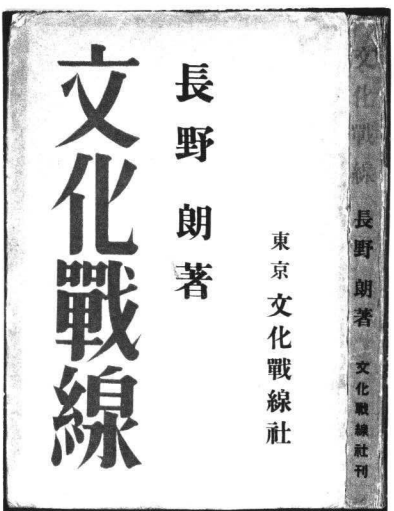


長野朗 ながの りょう 評論家。明治二十一年四月三日福岡縣生れ、昭和五十年六月二十一日没（七八八—一九七五）。陸軍士官學校卒。大正八年大川周明、満川龜太郎等の猶存社、行地社に加盟。翌年権藤成卿の下で農本自治運動に従事。のち日本國民黨、愛國勤勞黨参加を経て、昭和七年権藤、橋本二郎と共に自治農民協會を組織。十四年眞亞院囑託。戦後中國調査所を設け、機關誌『思想戦』創刊。二十八年全国郷村會議を興して中央委員長となる。

- 孫文著『ニ民主主義』（大正十五年十月一日支那問題研究所）を譯した
他、著書に『支那は何處へ行く？』（昭和二年五月）『二十二年支那問題研究所』、『滿蒙併合の獨りか？』（昭和六年十二月一日千倉書房）、
『日本自治史観』（昭和七年九月）『二十二年支那問題研究所』、十月二十
日建設社）、『自治日本の建設』（昭和七年十一月）『二十五年建設社』、
『日本の國際危機』（昭和十一年六月十日和泉會）、『支共存への
道』（昭和十二年七月）『二十五年坂上書院）、『文化戦線』（昭和十三年十一月）『二十五年文化戦線社』、坂上書院發賣）、『新舞臺支那』（昭
和十二年六月）『正信同發會』、『支
那未來記』（昭和十四年七月）『二十六年
の東亞ハ論社』、『新支那を觀るの』
（昭和十六年一月）『二十六年東世社』、
『民族戦』（昭和十六年二月十日紫
山教育出版社）、『我國の食糧問題』
（昭和十六年三月十五日東世社）、
『民族問題概説』（昭和十六年八
月二十日小學館）『教育新體制叢書』
（昭和十六年八月）『自治論』（昭和五十四年十



長野朗著

文化戦線

東京文化戦線社

長野朗著 文化戦線社刊

一月十五日富士・自治論刊行会、日本人村建設研究院）等。